



バードウォッチング & 巣箱の工作体験

4月10日開催



元気あっぶむらの自然の森を活用した「森とあそぼう企画」の第1弾として、『森の小鳥と友達になろう。巣箱の工作体験』が開催されました。

バードウォッチング
巣箱を作る前に、設置する場所を探しに森へ入りました。講師は『じおらじお』の遠山あづさ先生。自然の森に生息する身近な小鳥を中心に解説してくれるガイドも勤めてくれました。

森の小鳥を観察
双眼鏡の使い方をお教わった参加者は森にいる鳥を探しますがなかなか見つかることができません。「鳴き声から大体の位置を探り、動いた時がチャンス」と教えてもらい、観察しつづけます。

展望広場への道中、フワフワの羽が落ちていたのを発見。これはキジバトの羽で、ハヤブサ等の猛禽類に食べられた可能性のある痕跡だと解説がありました。猛禽類が生息している証でもあるとのことでした。

観察のマナー
展望広場に到着し、予め一つだけ設置されていた巣箱を観察します。頻繁ではないものの小鳥の出入りが確認できました。「鳥たちとお友だちになる方法」として、観察する際には距離を取る等のマナーも学びました。

ひな鳥の安全のため
巣箱を設置するのに適した条件は、地面から3mの高さで横枝がないもの。猫やヘビ、カラスやキツネなどに狙われて、卵や幼鳥が襲われないためだそうです。

巣箱の工作体験
午後は工作室へと移動し、巣箱づくり体験を4組の家族が楽しみました。出来上がった巣箱は各参加者が選んだ場所にスタッフの手によって後日設置されるというのです。



「正しいカエルの持ち方」をレクチャー



落ち葉に隠れていたカエル



花木・里山文化の解説板



文化庁「100年フード」認定 しもつかれブランド会議

町長へ表敬訪問



文化庁の新制度「100年フード」に栃木県の伝統料理「しもつかれ」が認定されました。「100年フード」は地域の風土や歴史の中で育まれてきた多様な食文化の継承や振興への機運を醸成するべく始まった事業です。

しもつかれの継承団体として『しもつかれブランド会議』も同時に認定されたことを報告するため、同会議代表等3名が4月27日、高根沢町長へ表敬訪問をしました。

同会議とのコラボイベントは高根沢町内でも行われ、元気あっぶむらでは「しもつかれ お料理教室」が開催されたり、『MIMI BAKE SHOP』との共同開発では『しもつかれスコーン』が誕生するなどしています。

新生活応援イベント

元気あっぷむら with Kei Zai Ken



続けて『とちぎの星』を獲得



ヨーヨー釣り 緊張の瞬間



金魚すくい「獲ったよ〜」



木工体験



肉巻きおにぎり串と揚げたこやき



ポイが破れて意気消沈



福引大抽選会



雑貨作り体験

地域活性化をテーマに活動する『Kei Zai Ken（ケイザイケン）』とのコラボイベントが4月17日開催されました。模擬店に加え、縁日でお馴染みの金魚すくいや水風船ヨーヨー釣りが提供され、特に家族連れに喜ばれていました。福引大抽選会では、高根沢産とちぎの星や商品券、日用品等の新生活に嬉しい賞品を引き当てた方たちが歓声を上げていました。コラボイベントは月イチで開催予定。5月22日には「青空ワークショップイベント」が開催されます。

ふるさと納税 いちごが人気で大幅増

高根沢町のふるさと納税返礼品に苺が加わったことによって注文が増え、申込み件数が前年度より大幅に伸びました。2月時点での申込み件数は前年度より1136件の増加。寄附金額は1093万円の増加となりました。人気のラインナップは、第1位～3位を

『高根沢産の苺』が独占。第4位は『cozuchi3302のオリジナルスコーン4種類詰め合わせ（7個入）』、第5位が『道の駅たかねざわ 元気あっぷむらのペア宿泊券』となっています。ふるさと納税のサイトを確認したところ

今シーズンの苺は注文終了のようですが、町内の直売所では、人気の「高根沢産の苺」は5月末あたりまで購入可能だそうです。高根沢町では返礼品の募集をしています。（問い合わせ先：総務課 028-675-8101）

ドライブで農業体験スルー？ 食育・農業体験「二十日大根編」 with ロングファーム

現役農家が講師となり、プランターで二十日大根を育てるお手軽な農業体験がGWの元気あっぷむらで催されました。プランターや土など道具一式は全て用意されているので手ぶらで参加可能。初心者でも始めやすい二十日大根の種を植えるだけなので、それほど手も汚れません。プランターごとお家に持って帰ってからは、土が乾いたら水やりをするくらいの手間で済むそうです。二十日大根は目が出てからは成長が早く、「初心者でも育てる喜びを感じやすい」とロングファームの永井さん。小学生は5・6年で学ぶ「種子の発芽」や「光合成」といった知識が実体験として結びつく経験ができます。

宇都宮から家族で来場し参加した小学5年の男の子は、家では自分専用の畑があり色々な野菜を育てているとのこと。下野新聞の取材に「収穫が楽しみです」と答えていました。

農業体験は第2弾以降も企画中のことと「ヒマワリ」や、「バケツ稲」も検討しているそうです。次回以降の情報は元気あっぷむらのHPやSNSでお知らせになります。

≪ 5月21日(土) ≫

- ひょうたんランプ工芸教室 10:30～12:30
会場：元気あっぷむら 情報提供施設2階 先着8組(予約可)

≪ 5月22日(日) ≫

- greenマルシェ（子ども縁日同時開催）10:00～15:00
会場：クリエイターズ・デパートメント中庭
- 青空ワークショップ 元気あっぷむら with Kei Zai Ken
会場：元気あっぷむら円形広場 10:00～16:00

≪ 5月28日(土) ≫

- ハンドメイドKOKOマルシェ 10:00～16:00
ミニゲーム輪投げ、シールラリー、キッチンカーも
会場：クリエイターズ・デパートメント中庭、ちよっ蔵広場

≪ 5月29日(日) ≫

- 芝の香りマルシェ 10:00～15:00 会場：元気あっぷむらキッチンカー8店、ハンドメイド約50店の他にステージも
- 村上酒店 初夏のSAKE TIME 2022（ちよっ蔵広場10:00～17:00）
「焼きもろこし&ピッツァ」ヴェッキオ・トラムの出店も

5月のイベント